佐渡米通信

こめ～る

2026年 11月号

発行日:2026年11月
発行：佐渡農業協同組合　担当：JA 佐渡 営農振興部 販売企画課
jasadoeinoubu20@dune.ocn.ne.jp

令和8年産米の作柄説明と販促活動の提案

「朱鷺と暮らす郷」推奨店様向けの加入説明会をビジョンセンター新橋で開催しました。当日は令和8年産米の作柄や検査状況の報告をはじめ、推奨店制度の概要や推奨店限定のLINEを活用した販売促進活動の提案が行われました。令和8年産の朱鷺と暮らす郷米(コシヒカリ、こしいぶき)の試食も行われ、試食された米穀店からは「試食した2つの品種ともに美味しかったので、今年もイチ押し商品として売っていけると感じた」と評価をいただきました。参加された米穀店からはキャンペーンを利用して店頭販売を拡大していくとともに、販促資材を活用して飲食店と末長い関係性づくりを築いていきたいので支援して欲しいといったご意見もいただきました。今後も「朱鷺と暮らす郷」推奨店の皆さんがイチ押し商品として販売いただけるよう、産地としてできる限りの販売支援をいたします。



朱鷺と暮らす郷推奨店加入説明会の様子



当日紹介された「朱鷺と暮らす郷」米の販促資材

稲刈り作業や生きもの調査等で産地交流を実施!!

10月3日に、コープデリ生活協同組合連合会やコープデリにいがた、佐渡Kids生きもの調査隊、朱鷺と暮らす郷米生産者など90名が参加し、稲刈り交流会と生きもの調査が行われました。稲刈り作業では文字や絵柄の部分を手で刈り取りを行った後、コンバイン乗車し、刈取体験も行いました。また、生きもの調査ではドジョウや佐渡固有種のサドガエルも見つかり、参加者は多様な生きものが田んぼにいることを知るきっかけになりました。



天気にも恵まれ、黙々と稲刈り作業をされている様子

今回お越しになったコープデリ生活協同組合連合会様では、佐渡市が推進する生きものを育む環境づくりを応援するため、2010年から「佐渡トキ応援お米プロジェクト」に取り組まれています。この取り組みでは「CO・OP産直新潟佐渡コシヒカリ」お買い上げ1kgにつき1円、「CO・OP産直新潟佐渡コシヒカリで作った焼おにぎり」お買い上げ1点につき1円、「CO・OP産直新潟佐渡コシヒカリで作ったごはん」3パックお買い上げにつき1円を「佐渡市トキ環境整備基金」に寄付されるものになっています。



当日参加された方で集合写真

今回の稲刈り作業が始まる前には寄付金贈呈式が行われ、コープデリグループを代表して、コープデリにいがた理事長並びにコープデリ生活協同組合連合会 副理事長の登坂康史様とコープながの理事長の丸山辰明様から今年の寄付金額256万822円の贈呈がされました。いただいた寄付金は「生きものを育む環境づくり」や「環境にやさしい米づくり」など、トキの野生復帰のために役立てられます。



募金贈呈式で寄付金が贈呈された様子



コープデリの組合員様から生産者へ向けたメッセージが寄せられたメッセージボード

温湯消毒 | 春耕転 | 苗づくり | 田植え | 水管理 | 中干し | 穂肥 | 稲刈り | 秋耕転 | ふゆみずたんぼ

facebook

instagram JASADOTANBO